

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公表番号】特表2009-516102(P2009-516102A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-540286(P2008-540286)

【国際特許分類】

E 0 1 F 9/08 (2006.01)

E 0 1 C 23/18 (2006.01)

C 0 3 C 10/02 (2006.01)

C 0 3 C 12/02 (2006.01)

【F I】

E 0 1 F 9/08

E 0 1 C 23/18 A

C 0 3 C 10/02

C 0 3 C 12/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月6日(2009.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

舗装道路表面を提供する工程と、

前記舗装道路表面に舗装道路路面マーカーを適用する工程とを含む舗装道路表面にマーキングする方法であって、前記舗装道路路面マーカーがバインダ内に少なくとも部分的に埋め込まれる透明なマイクロスフェアを備え、前記マイクロスフェアの少なくとも一部が、
少なくとも 2 . 1 0 の屈折率を有し、
並びに少なくとも 4 0 重量 % の TiO_2
および少なくとも 1 0 重量 % の La_2O_3 を含む、方法。

【請求項 2】

前記一部の前記マイクロスフェアが、少なくとも 2 . 3 0 の屈折率を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記一部の前記マイクロスフェアが、ガラス - セラミック構造を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記一部の前記マイクロスフェアが、少なくとも 2 5 重量 % の La_2O_3 を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記一部の前記マイクロスフェアが、5 重量 % ~ 1 5 重量 % の ZrO_2 、 HfO_2 、 ThO_2 又はこれらの混合物を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記一部の前記マイクロスフェアが、

4 5 重量 % ~ 7 0 重量 % の TiO_2 と、

20重量%～55重量%の La_2O_3 と、
5重量%～25重量%の ZrO_2 、 HfO_2 、 ThO_2 又はこれらの混合物とを含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記一部の前記ミクロスフェアが、少なくとも90重量%の TiO_2 、 La_2O_3 、 ZrO_2 、 HfO_2 又は ThO_2 からなる、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記一部の前記ミクロスフェアが、
60重量%～65重量%の TiO_2 と、
25重量%～35重量%の La_2O_3 と、
5重量%～15重量%の ZrO_2 、 HfO_2 、 ThO_2 又はこれらの混合物とを含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記ミクロスフェアが、再帰反射素子に埋め込まれる、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

前記舗装道路路面マーカが、接着剤および所望により裏材を更に含むテープであり、
前記接着剤が、前記舗装道路表面と接触する、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

45重量%～70重量%の TiO_2 と、
20重量%～45重量%のランタニド系列元素の酸化物類から選択される1つ以上の金属酸化物と、
5重量%～25重量%の ZrO_2 、 HfO_2 、 ThO_2 又はこれらの混合物とを含む組成物を有し、少なくとも2.10の屈折率を有する固体ガラス材料。

【請求項12】

45重量%～70重量%の TiO_2 と、
20重量%～45重量%のランタニド系列元素の酸化物類から選択される1つ以上の金属酸化物と、
5重量%～25重量%の ZrO_2 、 HfO_2 、 ThO_2 又はこれらの混合物とを含む組成物を有し、少なくとも2.10の屈折率を有するガラス-セラミック材料。